

平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年8月6日

上場会社名 中部証券金融株式会社
 コード番号 8513 URL <http://www.chusyokin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 湯本 崇雄
 (氏名) 村瀬 洋

TEL 052-251-1301

上場取引所 名

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	269	△0.8	20	△34.0	45	75.8	36	163.9
21年3月期第1四半期	271	—	31	—	25	—	13	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	9.17	—
21年3月期第1四半期	3.47	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	55,168	2,949	5.3	741.79
21年3月期	56,340	2,685	4.8	675.38

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 2,949百万円 21年3月期 2,685百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	6.00	6.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	520	△9.6	30	△49.6	90	9.4	50	33.3	12.58
通期	1,030	△7.9	70	4.3	190	4.6	100	10.1	25.15

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	4,000,000株	21年3月期	4,000,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	24,399株	21年3月期	23,800株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	3,975,711株	21年3月期第1四半期	3,979,945株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 経営成績に関する定性的情報」をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成21年4月1日から同年6月30日までの3か月間）におけるわが国経済は、企業収益や設備投資は大幅に減少し、また、雇用情勢も急速に悪化しており、依然として厳しい状況にあるものの、わが国をはじめとする各国政府による景気対策等もあり、このところ輸出や生産については持ち直しの動きが見られ、悪化のテンポが緩やかになっております。

株式市況についてみますと、期初8,351.91円でスタートした日経平均株価は、米国をはじめとする世界経済の回復期待を背景に、上昇基調を辿り、6月中旬には終値ベースで10,000円の大台を付け、結局、当第1四半期末には9,958.44円と、前事業年度末（8,109.53円）に対し約23%の上昇で取引を終えました。この間、3市場信用取引買残高は、前事業年度末は8,987億円でありましたが、株価の上昇等を受け、当第1四半期末は1兆5,096億円と前事業年度末比約68%の増加となりました。

こうした環境の下、当社の資金運用状況をみますと、まず、貸付金の期中平均残高は64億円と貸借取引貸付金をはじめとする貸付金全般の減少により、前年同四半期(133億円)比69億円の減少となりました。次に、有価証券投資についてみますと、期中平均残高は478億円と前年同四半期(346億円)比131億円の増加となりました。

以上のような資金運用状況の下、当第1四半期の営業収益は、2億69百万円と、前年同四半期(2億71百万円)比2百万円の微減となりました。一方、営業費用は1億9百万円と、前年同四半期(1億21百万円)比12百万円の減少となりました。また、一般管理費は1億39百万円と、前年同四半期(1億18百万円)比21百万円の増加となりました。

この結果、当第1四半期の営業利益は20百万円と前年同四半期(31百万円)比10百万円の減益、経常利益は45百万円と、前年同四半期(25百万円)比19百万円の増益となり、税金関連費用を控除した四半期純利益は36百万円と、前年同四半期(13百万円)比22百万円の増益となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、一般貸付金及び有価証券投資の減少等により、551億68百万円と、前事業年度末に比べ11億71百万円減少しました。負債は522億19百万円と、運用残高の減少に対応する形で、短期借入金、貸付有価証券代り金を中心に14億35百万円減少しました。また純資産は、有価証券の評価額が改善し29億49百万円と、前事業年度末に比べ2億63百万円の増加となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期末の現金及び現金同等物は、借入金及び貸付有価証券代り金の減少、投資有価証券の取得、差入保証金の差入による支出に対し、貸付金の減少、コールマネーの増加、投資有価証券の売却、差入保証金の回収による収入があったことなどから、前事業年度末に比べ88百万円増加し、2億33百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、11億25百万円の支出超過(前年同四半期は44億64百万円の収入超過)となりました。これは主として、貸付金の減少及びコールマネーの増加による収入43億65百万円に対し、借入金及び貸付有価証券代り金の減少による支出が54億円あったことによります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、12億31百万円の収入超過(前年同四半期は51億26百万円の支出超過)となりました。これは主として、投資有価証券の取得及び差入保証金の差入による支出57億73百万円に対し、投資有価証券の売却及び差入保証金の回収による収入が70億5百万円あったことによります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、18百万円の支出超過(前年同四半期は17百万円の支出超過)となりました。これは、配当金の支払が17百万円あったことによります。

3. 業績予想に関する定性的情報

わが国経済は、平成21年3月期第4四半期(平成21年1月1日から同年3月31日)を底に、一部持ち直しの動きが見られるものの、設備余剰や雇用情勢の悪化などの先行き不透明要因も依然として残り、不安定な状況が続くものと思われ、株式市況につきましても、方向感の定まらない不安定な展開が予想されます。

こうした想定の下、当社といたしましては、中部地区における証券金融の専門機関として、証券界及び投資家の多様化するニーズ等に適切かつ機動的に対応し、貸付金残高の確保等に努めてまいりますが、以上の状況を踏まえ、平成21年3月期の業績予想につきましては、前回(平成21年5月18日)公表の予想値から変更ありません。

また、業績予想につきましては、さまざまな不確定要素が内在しておりますので、実際の業績は公表予想値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	233,590	145,309
有価証券	240,148	240,288
貸借取引貸付金	299,997	228,771
一般貸付金	6,082,764	6,518,789
貸借取引貸付有価証券	10,691	8,039
その他	333,468	263,038
貸倒引当金	△3,791	△4,102
流動資産合計	7,196,869	7,400,132
固定資産		
有形固定資産	58,097	59,252
無形固定資産	287,522	303,721
投資その他の資産		
投資有価証券	47,051,229	47,580,127
繰延税金資産	—	154,152
その他	611,831	880,305
貸倒引当金	△36,681	△37,260
投資その他の資産合計	47,626,379	48,577,325
固定資産合計	47,971,998	48,940,299
資産合計	55,168,867	56,340,432

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
コールマネー	18,000,000	14,000,000
短期借入金	31,500,000	32,800,000
未払法人税等	3,290	65,819
貸付有価証券代り金	1,975,471	6,075,720
担保金	440,000	440,000
預り金	10,767	4,026
預り有価証券	10,086	8,039
賞与引当金	2,104	10,513
役員賞与引当金	1,500	6,000
その他	64,955	31,738
流動負債合計	52,008,174	53,441,857
固定負債		
繰延税金負債	14,336	—
退職給付引当金	134,925	129,782
役員退職慰労引当金	62,383	83,339
固定負債合計	211,644	213,121
負債合計	52,219,818	53,654,978
純資産の部		
株主資本		
資本金	200,000	200,000
利益剰余金		
利益準備金	50,000	50,000
その他利益剰余金		
配当準備積立金	191,000	191,000
圧縮記帳積立金	18,074	18,138
別途積立金	1,530,000	1,530,000
繰越利益剰余金	828,325	815,674
利益剰余金合計	2,617,399	2,604,813
自己株式	△5,685	△5,588
株主資本合計	2,811,713	2,799,225
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	137,335	△113,771
評価・換算差額等合計	137,335	△113,771
純資産合計	2,949,049	2,685,453
負債純資産合計	55,168,867	56,340,432

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業収益		
貸付金利息	88,758	42,228
借入有価証券代り金利息	—	4
受取手数料	13,983	1,791
有価証券貸付料	651	2,167
有価証券利息配当金	167,877	222,930
営業収益合計	271,271	269,123
営業費用		
支払利息	97,326	83,940
支払手数料	23,933	23,351
有価証券借入料	428	1,943
営業費用合計	121,688	109,235
営業総利益	149,582	159,887
一般管理費	118,110	139,126
営業利益	31,472	20,761
営業外収益		
投資有価証券売却益	113,430	459,120
その他	713	1,225
営業外収益合計	114,144	460,345
営業外費用		
投資有価証券売却損	119,952	55,442
デリバティブ取引運用損	—	380,453
その他	6	102
営業外費用合計	119,959	435,998
経常利益	25,657	45,108
特別利益		
貸倒引当金戻入額	431	889
特別利益合計	431	889
特別損失		
固定資産除却損	—	15
特別損失合計	—	15
税引前四半期純利益	26,088	45,982
法人税、住民税及び事業税	9,981	3,358
法人税等調整額	2,297	6,180
法人税等合計	12,279	9,539
四半期純利益	13,809	36,443

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	26,088	45,982
減価償却費	1,846	17,507
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,354	△8,409
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,500	△4,500
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△431	△889
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,204	5,143
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,670	△20,956
投資有価証券売却損益(△は益)	6,521	△403,677
固定資産除却損	—	15
デリバティブ取引運用損益(△は益)	—	380,453
受取利息及び受取配当金	△256,713	△265,207
支払利息	97,326	83,940
その他の損益(△は益)	—	△681
営業貸付金の増減額(△は増加)	984,890	365,377
借入有価証券代り金の増減額(△は増加)	—	△10,000
コールマネーの増減額(△は減少)	3,500,000	4,000,000
借入金の増減額(△は減少)	△1,950,000	△1,300,000
担保金の増減額(△は減少)	5,000	—
貸付有価証券代り金の増減額(△は減少)	1,969,675	△4,100,249
未払消費税等の増減額(△は減少)	△225	△115
その他の資産の増減額(△は増加)	△35,442	10,720
その他の負債の増減額(△は減少)	26,874	34,514
小計	4,371,432	△1,171,031
利息及び配当金の受取額	207,435	189,486
利息の支払額	△97,362	△79,106
法人税等の支払額	△17,447	△65,028
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,464,058	△1,125,679
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△8,001,770	—
有価証券の償還による収入	10,500,000	—
有形固定資産の取得による支出	△129	△168
投資有価証券の取得による支出	△16,991,499	△5,523,259
投資有価証券の売却による収入	9,366,769	6,867,488
差入保証金の差入による支出	—	△250,000
差入保証金の回収による収入	—	137,914
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,126,629	1,231,975
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△93	△97
配当金の支払額	△17,681	△17,917
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,774	△18,014
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△680,346	88,281
現金及び現金同等物の期首残高	1,345,797	145,309
現金及び現金同等物の四半期末残高	665,451	233,590

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。